

議題 2 (委員会決裁事項 (規則第 3 条第 3 号))

統合整備により令和 2 年度に新たに開校する予定の高等学校の校名 (仮称) について

標記について、別紙のとおり決定する。
今後はこの校名 (仮称) を使用して広報等を行うこととする。

令和元年 6 月 20 日

大阪府教育委員会

統合整備により令和2年度に新たに開校する予定の 高等学校の校名（仮称）について

【校名検討の方針】

- 統合整備による特色づくりを行う学校の校名については、母体となる学校にゆかりのある名称となるよう配慮し、学校関係者及び地域の意向を踏まえるとともに、大阪府内唯一の普通科多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部高校として他の高校に比して府内全域から生徒が通学することも考慮して決定する。

【選定の手順】

- 統合整備対象校（勝山高校・桃谷高校）の関係者（生徒、教職員、同窓会及び後援会等）から校名案を募集するとともに一般公募も実施し、応募のあった案について両校の代表者及び府教育庁担当者による「校名検討委員会」で協議を重ね、校名候補案を検討。
- その検討内容をもとに教育委員会で検討し、校名（仮称）案を決定。

1. 校名

大阪府立大阪わかば高等学校（仮称）

2. 選定理由

- 校名検討委員会での議論の結果、両校がともに大阪市生野区に位置することから、“生野”という地名を採り入れ、勝山高校の同窓会名でもある“嫩葉^{わかば}”という言葉^{わかば}を親しみやすくやわらかい雰囲気になるよう平仮名で“わかば”と表記して組み合わせ、生野わかば高等学校という校名候補案が出された。
- その候補案を基に、大阪府内唯一の普通科多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部高校であり、広く府内全域から生徒を受け入れ、寄り添った指導をめざすことから“生野”を“大阪”とするほうが良いとの結論に至り、「大阪わかば高等学校」とした。
- なお、“嫩葉”は「新芽の葉」「若く柔らかな葉」を意味し、新時代にふさわしい生命力としなやかさを感じさせることから、未来を担う若い

世代の成長をイメージし、「多様な生徒たちが、新校での学びのなかで芽を出し花を咲かせ実をつけるように成長して社会へ巣立ってほしい」という願いを込めている。

【校名の正式決定】

- 令和元年9月定例府議会に大阪府立学校条例の一部改正の議案を提出する予定。